

明日への希望が見える大阪市を!

日本共産党

市会

北山良三

元大阪市会議員



私は昨年秋から西淀川区内をくまなく歩き、3千人をこえる区民のみなさんと対話を重ねてきました。

そこでは、「介護保険料高すぎる。医者代も値上がりした。年寄り早く死ぬということか」「公園が草ボウボウ、トイレも少なく、子どもを遊ばせられへん」など、さまざまなお声が寄せられます。

いまの市政は、カジノにばく大な税金を注ぎ込み、住民のいのちや暮らし、街づくりを後回しにしています。軍備拡大や原発再稼働をすすめる政府に、維新の会は「もっとやれ」とけしかけています。

私はこんな政治をなんとしても変えたいと、いま決意を新たにしています。しかし私一人では力が足りません。どうかお力をお貸し下さい。ご一緒に明日への希望が見える大阪市をつくりましょう!

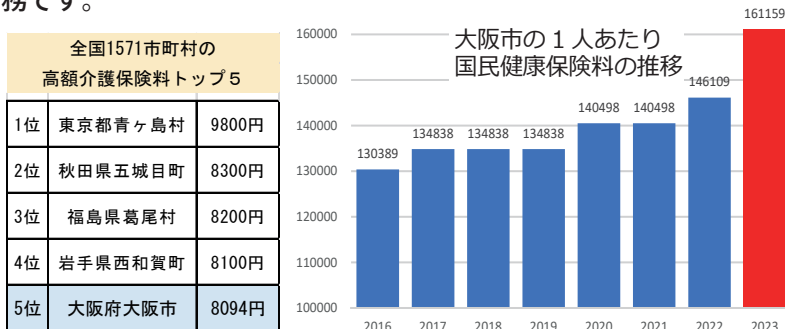
●1952年(昭和27年)生まれ。西淀川区歌島在住。●日本福祉大卒。●西淀病院事務長、歌島中学校PTA会長、みどり保育園建設委員長など歴任。現在、西淀川・淀川健康友の会会長。●1998年大阪市会議員初当選。2015年4月まで4期13年。党市会議員団長など歴任。

カジノを止め、いのちを守り、暮らし・子育てを全力で支える市政に!

国保料 = 今後2年で20%もの値上げ?!
介護保険料 = 全国の市でもっとも高額!
…いのち・暮らしを守るため大幅引き下げを!

大阪市の国民健康保険料は、給与収入400万円・30代夫婦と子ども2人の標準世帯で年45万200円(名古屋市35万2200円)と他市に比べても非常に高額です。現市政は国保財政が93億円も黒字なのに、これを来年度10%、再来年度も10%、連続値上げしようとしています。

介護保険料(65歳以上)は、基準月額8,094円・年97,128円で、全国792の市の中でもっとも高額です。市民のいのち・暮らしを守るために、高すぎる国保料・介護保険料の大幅な引き下げが急務です。



学校つぶしをやめ
少人数学級の実現で
どの子ども伸びる子育て・教育を

教育費負担
ゼロの実現
とともに...

現市政は、少子化を口実に11学級以下の小学校つぶしをすすめています。生野区では地域住民の反対の声を踏みにじて小中学校の統廃合を強行、小学生の通学に30分もかかる地域も生まれ大問題になっています。今後、西淀川区でも同様の動きがおこってくる可能性があります。

小中学校は子どもたちの学びと成長の場であるとともに、地域コミュニティの中心であり防災拠点です。住民合意のない統廃合はしてはなりません。

学校つぶしをやめ、いまこそ正規雇用の学校の先生を思い切って増やしましょう。全学年で30人以下の少人数学級を前にすすめ、どの子ども伸びる子育て・教育環境をつくりましょう。



日本共産党西淀川区委員会は政策を発表しました。
 発行 日本共産党西淀川区委員会 西淀川区姫島4-16-6
 2023年3月20日 No.376



Q. 大阪の経済が低迷しています。カジノは景気回復の起爆剤になるのでは？

A. 景気回復には、個人消費を増やす対策が必要です。客からカネをまきあげるギャンブルで景気はよくなりません

- 経済が低迷しているのは、異常な物価高騰のもとで、給料も年金も上がらず、消費が伸びないからです。とくに大阪は多くの経済指標が全国平均を下回っています。
- 国と大阪府・市が力を合わせて、最低賃金や年金の引き上げ、消費税減税、中小企業への直接支援、社会保障の負担を軽くするなどの対策をとってこそ、経済の回復への道がひらかれます。

物価高騰から暮らしと経済を立て直す緊急提案

買上げを軸に内需を活性化し、实体经济を立て直す

日本共産党



- 大阪のカジノ事業計画は、年間1,000万人もの日本人が来場し4900億円もつける(客が負ける)というものです。ギャンブル漬けになる人が増えれば増えるほどもうかるカジノで、地域経済がよくなるはずがありません。

Q. 暮らしや子育てへの応援を強めてほしいです。でも財源は大丈夫でしょうか？

A. 大阪市は30年以上黒字。カジノをやめて貯金も活用すれば多くのことができます！

- 大阪市は1989年度から30年以上も黒字です。また市の貯金(財政調整基金)を、全国ダントツの2448億円(2022年度末見込み)もため込んでいます。これは住民サービスを削り、コロナ対策のための国からの補助金を余らせてつくったものです。
- ところが大阪市は2023~29年だけで、カジノ・夢洲開発に2148億円を注ぎ込む計画です(3/8山中智子議員の質問)。景気が悪化すれば一気に財政悪化におちいる危険があります。

- 大阪市の新年度一般会計予算は1兆9088億円。1%を組み替えるだけで国保料・介護保険料の引き下げなど、たくさんの願いを実現できます。カジノをやめ、貯金(財政調整基金)も活用し、暮らし・子育てを応援する大阪市に変えましょう。



ここが聞きたい Q&A

Q. 西淀川区を住みよい街にするためにどういう施策が必要でしょうか？

A. 子どもたちや高齢者が安心して過ごせる緑豊かな公園を！ 区内循環バスの復活を！

- 住民のみなさんの声で多いのは、大野川緑陰道路をはじめ公園の改善です。現市政は、公園や樹木の管理にかかる予算を減らし続けてきました。子どもたちが元気に走り回り、区民が穏やかに過ごせる公園にするため、こまめな雑草や樹木の手入れ、すべての公園にトイレをつくり、清潔に保つなどの予算をつける必要があります。

- 高齢者、障がい者、妊産婦のみなさんが区内の移動に困難をきたしています。10年前に赤字を理由に廃止された区内を循環するコミュニティバス(当時は「赤バス」)を復活させましょう。「赤バス」は1両しかなく不便でしたが、車両を増やし、双方向で、中島、竹島を含め区内全域を運行するものにしましょう。



Q. 日本共産党はいいことを言いますが、議席が少ないので実行できないのでは？

A. たった1人の議員でも区民と力を合わせれば政治を動かすことができます！

- 国民・住民のみなさんの切実な願いに応えた道理ある政策は、市民のみなさんと力をあわせれば、時間はかかっても必ず実現できると私たちは考えています。
- 西淀川区民は、1970年代に大野川に高速道路や燃料パイプラインを通す計画を打ち破って、緑陰道路を実現させた歴史をもっています。
- この時、区民にみなさんと心を通わせがんばったのが、沓脱タケ子市会議員(当時)でした。たった1人の議員でも、区民の声と願いを議会に届け、多くの区民と「二人三脚」で行動するならば政治を動かせるのです。



- 北山良三の政策全般はJCPにしよどNo.372をご覧ください



ビラのポスティングなどのボランティア募集中です！

ちょっとあいた時間のボランティア「ちょいボラ」大歓迎です！
「やってもいいよ」という方は…⇒北山良三事務所までご連絡を！

Tel.06-6473-8230 kitayama.nishiyodo@gmail.com

市民とともに市政を動かす 日本共産党を伸ばしてください